

様別紙

三菱レイヨン株式会社 大竹事業所
ユーエムジー・エービーエス(株)大竹工場

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

三菱レイヨン株式会社 大竹事業所
ユーエムジー・エービーエス株式会社 大竹工場

(2) 事業所の所在地

広島県大竹市御幸町20番1号

(3) 業種

三菱レイヨン株式会社 大竹事業所 …1632 脂肪族系中間物製造業
ユーエムジー・エービーエス株式会社 大竹工場…1735 プラスチック製造業

2 計画の期間

本計画の期間は、平成22(2010)年度を基準年度とし、平成23(2011)年度から平成27(2015)年度までの5年間とする。なお、非エネルギー起源の温室効果ガスについては、平成18(2006)年度を基準年度とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況 《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度実排出量(a)	目標年度 上段：見込量(b) 下段：削減率(c)	計画期間の実績 (上段：実排出量(d)，下段：削減量の対基準年度比(e))				
	平成18年度	平成27年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
エネルギー 起源CO ₂							
非エネルギー 起源CO ₂	57,532	56,381 2	44,052 23				
メタン	133	130 2	129 3				
一酸化二窒素	3,754	3679 2	2,943 22				
フロン類							
温室効果ガス 実排出量総計							
温室効果ガス みなし排出量							
実績に対する 自己評価	平成23年度の排出量が減少した理由：生産量が減少したことにより、該当する廃棄物の発生量が減少したことによるものと考えられる。						

※ 削減率(c) = ((a)-(b))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：**基準製品換算生産数量 (t)**

温室効果ガスの種類	基準年度の実績(a)	目標年度 上段：目標(b) 下段：削減率(c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績(d)，下段：削減量の対基準年度比(e))				
	平成22年度	平成27年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
エネルギー 起源CO ₂	647	615 5	648 -0.1				
非エネルギー 起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類							
温室効果ガス 総排出量							
エネルギー消費 原単位 (原油換 算k1) ★	226.6		203.4 +10.2				
実績に対する 自己評価	平成23年度原単位が悪化した理由：自家発電用燃料として低発熱量石炭の利用を拡大したため、石炭使用量が増加したためと考えられる。 ★平成22年度：UMGABS(株)大竹工場及びびびり作トリックス(株)大竹工場は算定対象外 平成23年度：UMGABS(株)大竹工場は算定対象外						

※ 削減率(c) = ((a)-(b))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	ドレン回収	158原油換算 $\text{kg}/\text{年}$	平成23年度 工場ドレン回収方法の見直しによるフラッシュ蒸気の回収(熱交換器 1基)
2	排気設備の消費電力削減	234原油換算 $\text{kg}/\text{年}$	平成23~24年度 排気箇所の統合及びブロワーを高効率な設備に更新(排気ブロワー 9台)
3	ドレン回収	244原油換算 $\text{kg}/\text{年}$	平成24年度 工場ドレン回収再利用(フラッシュ蒸気の回収等々)
基準年以降で実施済み項目			
4	蒸気圧力低下	618原油換算 $\text{kg}/\text{年}$	平成24年度 高圧加熱器用蒸気圧力減圧による省エネ(加熱器 1器)
5	蒸気ロス削減	254原油換算 $\text{kg}/\text{年}$	平成24年度 糸束熱処理装置クリアランス減少で蒸気削減(糸束熱処理装置 4台)
6	廃熱利用	657原油換算 $\text{kg}/\text{年}$	平成23年度 温海水からの熱回収による脱気器用蒸気減
7	蒸気の削減	1650原油換算 $\text{kg}/\text{年}$	平成24年度 乾燥ロール蒸気削減
8	蒸気削減	707原油換算 $\text{kg}/\text{年}$	平成23年度 各塔ジェット真空ポンプ併用化

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み(環境価値の活用等)

	種類	合計量
1	特に無し	
2		
3		

○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	廃棄物の削減及び再利用		<ul style="list-style-type: none"> ・排水の活性汚泥処理による廃油発生量の低減 ・焼却灰の再資源化検討
2	省エネCO2削減		<ul style="list-style-type: none"> ・エアコン温度管理徹底（夏28℃以上、冬20℃以下） ・蒸気ロス（トラップ含む）管理の徹底
3	その他		<ul style="list-style-type: none"> ・大竹市工場周辺一斉清掃への参加

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。